

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第5区分

【発行日】平成29年8月10日(2017.8.10)

【公開番号】特開2016-203856(P2016-203856A)

【公開日】平成28年12月8日(2016.12.8)

【年通号数】公開・登録公報2016-067

【出願番号】特願2015-89407(P2015-89407)

【国際特許分類】

B 6 0 Q 1/50 (2006.01)

B 6 0 Q 1/26 (2006.01)

【F I】

B 6 0 Q 1/50 Z

B 6 0 Q 1/26 Z

【手続補正書】

【提出日】平成29年6月29日(2017.6.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

路面に向けて光(24)を投射し、前記路面上で前記光による表示を行う光投射ユニット(7、107、207、307)と、

前記光におけるP偏光及びS偏光の比率を設定する偏光制御ユニット(11)と、

物標の位置を検出する物標位置検出ユニット(13)と、

を備え、

前記偏光制御ユニットは、前記物標の位置に応じて前記比率を設定することを特徴とする路面表示装置(1)。

【請求項2】

請求項1に記載の路面表示装置であって、

前記光投射ユニットは前記光の光源として円偏光の光源(19)を備え、

前記偏光制御ユニットは、前記光の光軸上にある偏光板(25、41、43)を用いて前記比率を設定することを特徴とする路面表示装置。

【請求項3】

請求項2に記載の路面表示装置であって、

前記偏光制御ユニットは、前記偏光板を回転させること、又は、光学軸の向きが互いに異なる偏光板の群の中から前記偏光板を選択することで、前記比率を設定することを特徴とする路面表示装置。

【請求項4】

請求項1に記載の路面表示装置であって、

前記光投射ユニットは前記光の光源として直線偏光の光源(51)を備え、

前記偏光制御ユニットは、前記光の光軸上にある1/2板(53、57、59)を用いて前記比率を設定することを特徴とする路面表示装置。

【請求項5】

請求項4に記載の路面表示装置であって、

前記偏光制御ユニットは、前記1/2板を回転させること、又は、光学軸の向きが互いに異なる1/2板の群の中から前記1/2板を選択することで、前記比率を設定す

ることを特徴とする路面表示装置。

【請求項 6】

請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項に記載の路面表示装置であって、  
前記光投射ユニットは、画像を表現する前記光を投射することを特徴とする路面表示裝置。